

のさらなる躍進の年に！！



大家族 自分ごととして 思いやる

副市長 吉岡初浩



高浜市長 吉岡初浩

皆さま、新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。本年は、「しあわせづくり計画（第3次地域福祉計画）」の策定を進めていきます。

地域の課題は行政だけでは解決できないことが多く、より身近なところで皆さんといっしょに考え、大家族の一員として、「自分ごと」と捉えて、考えることができれば、納得できるところに落ち着くように思えます。

「高浜には楽しめる場や活動できるようなことが何もない」という声を聞きますが、それは、若い人たちが自身が主体的にかかわれることや場が見つからないからではないかなと思っています。「自分ごと」として地域の課題を捉える姿勢が若い人の中に出てくることで、今までもありまことに関心のなかつた人たちも「自分もやらなきゃ」「自分でやってみよう」方が絶対楽しい」と感じていただけたと思います。市民映画「タカハマ物語」では、そんな一面を垣間見た気がしました。

「しあわせづくり計画」の策定では、市民の「幸福実感」の向上をめざし、高浜市に住む「幸せのカタチ」を考えていきます。昨年より職員研修を実施するなど準備を進めてきました。職員も日々現場である地域に出かけ、できる範囲で地域の活動に参加し、地域の魅力や課題を知り、課題解決に取り組んでいきます。ぜひ、皆さんにもいっしょになって、地域の課題を「自分ごと」にしていただきたいと思います。

将来にわたり住み続けたいと思っただけのまわちにしていくためにも、「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。

終わりに、新春の門出にあたり、市民の皆さまのご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

